

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月17日

計画の名称	東京港における港湾防災機能の維持・強化（防災・安全）（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	東京都												
計画の目標	臨港道路における緊急輸送道路の無電柱化等を実施し、耐震強化岸壁からの緊急物資輸送やコンテナ物流の停滞を回避する												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,289	A	2,289	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	無電柱化により、災害時に倒壊した電柱や切断された電線類による臨港道路の閉塞を回避する 電柱倒壊などによる道路閉塞が回避される道路空間の割合 (整備完了道路延長) / (整備対象道路延長)	11%	%	34%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	—	避難行動要支援者名簿の提供	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

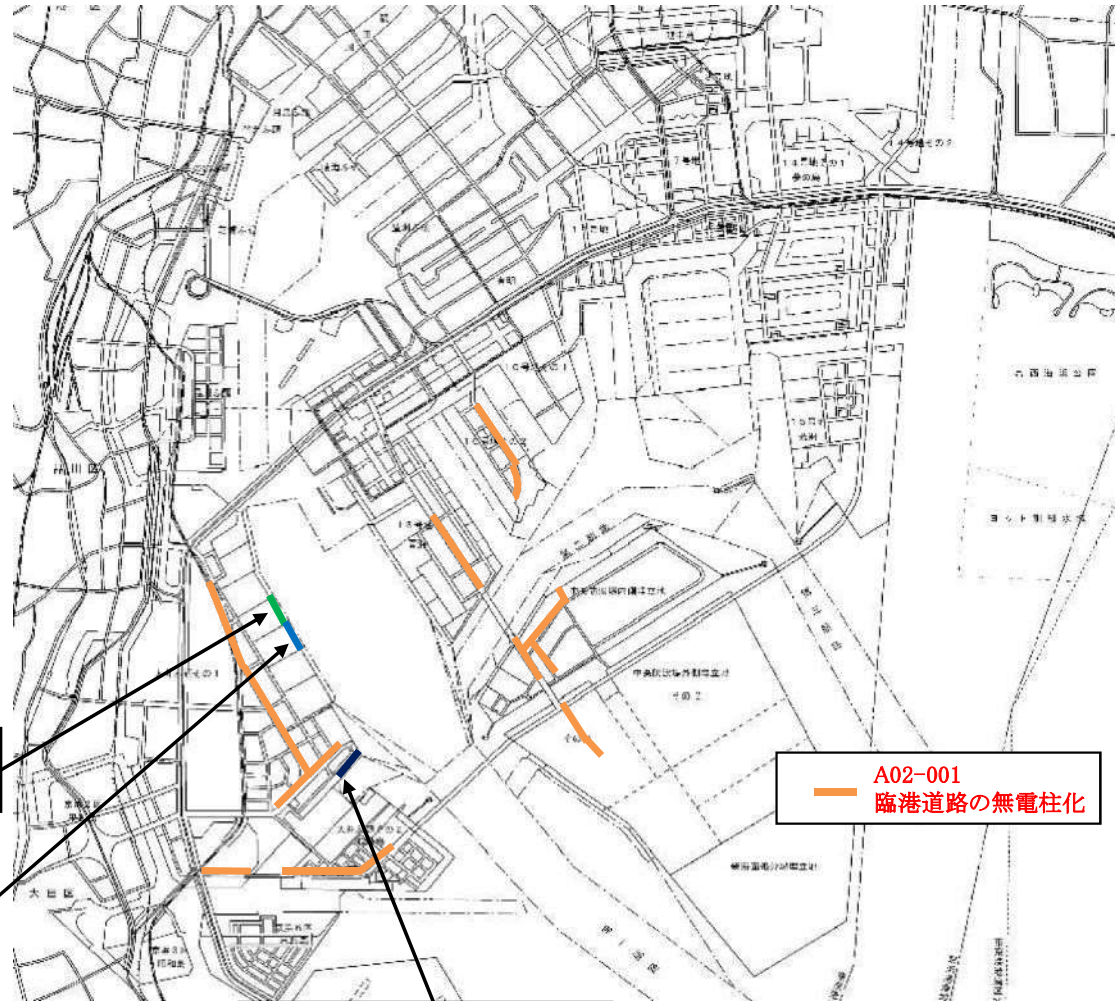
A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		R02	R03				R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	臨港道路の無電柱化	整備延長 L=5.6km	東京港	■	■	■	■	■	1,100	—	
	A02-002	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁 (-15m) (改良) 大井ふ頭	防舷材更新	東京港・南部地区		■	■			480	—	
	A02-003	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁 (-11m) (改良) 大井食品ふ頭	岸壁補修380m	東京港・南部地区	■	■				228	策定済	
	A02-004	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁 (-15m) (改良) 大井ふ頭	防舷材更新	東京港・南部地区				■	■	481	—	
											小計						2,289		
											合計						2,289		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	176	167	240		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	176	167	240		
前年度からの繰越額 (d)	0	176	147		
支払済額 (e)	0	196	359		
翌年度繰越額 (f)	176	147	28		
うち未契約繰越額 (g)	32	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	18.18	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	発注時の地元調整に想定以上の時間を要し、発注が遅れたため。				

計画の名称	東京港における港湾防災機能の維持・強化（防災・安全）（重点）		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）	交付対象	東京港



A02-002  
岸壁(-15m)(改良)大井ふ頭

A02-004  
岸壁(-15m)(改良)大井ふ頭

A02-003  
岸壁(-11m)(改良)大井食品ふ頭

A02-001  
臨港道路の無電柱化

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 東京港における港湾防災機能の維持・強化（防災・安全）（重点）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 港湾計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域防災計画等と整合している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 東京港の課題等を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業実施により十分な事業効果が発揮される。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果が得られるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 ①計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ②円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画内容に関し、関係者等の合意形成が整っている。	○